

第2回 特別実技補習実施しました

第2回特別実技補習を6月9日（土）に実施しました。前回の特別実技補習から今回の補習の間には、アートセミナー（5月）、南陵祭（6月）と美術専攻の皆さんには、たくさんの行事が続いています。何事も経験の積み重ねによって、皆さんがめざす進路の実現につながります。こうした補習をとおして自己の実技力の向上を図りたいものです。

さて、今回のモチーフは、天然ゴム手袋・軍手・シュロ縄（黒）です。それらを自由に扱い描きなさいという課題でした。この実技課題は、2005年多摩美術大学絵画学科油画専攻の鉛筆デッサン入試問題を参考に出题をアレンジしました。

出題意図としては、質感の異なる3つのモチーフを自由に描いてもらうことにより、その中から新たな素材の可能性を見つけ、それをいかに画面上で表現しているかを本実技問題のねらいとしました。そして、普段見慣れた身近にあるモチーフから、造形的に美しいと感じる形体や画面構成、明暗のコントラストなどを見つけ出し、見る側に驚きを与える新鮮で力強い作品が制作されることを期待しました。



配付されたモチーフ3点



1、2年生合同で制作

久々の実技補習でしたが、開始1時間前から鉛筆デッサンの準備をする生徒も見受けられ、補習への意識の高さを感じられました。また、1、2年生合同での実技補習ですが、制作時間中はモチーフを描写する鉛筆の音だけが聞こえ、熱気と緊張感が同時に感じられる3時間でした。



黙々と鉛筆を動かし制作



作品展示では、2年生が積極的に動きます

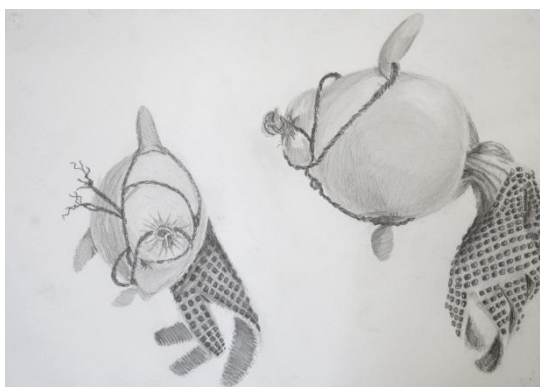
制作後は、参加者全員で制作した作品を展示し、講評会を実施しました。今回は、出題意図をしっかりと理解し、モチーフの持つ特徴を発見し的確に描かれた作品が高い評価を受けていました。以下、上位作品を掲載します。



2年 山田 楓



2年 笹野井 もも



2年 高山 美月



1年 大木 奏子



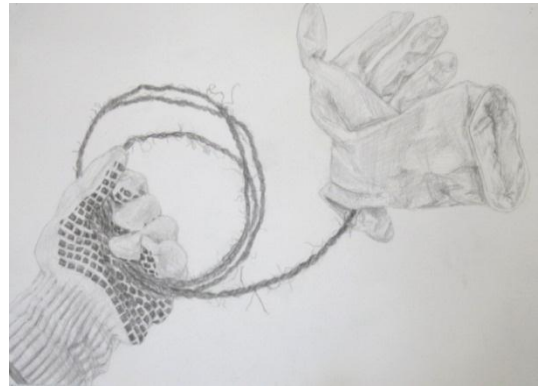
2年 春田 実桜



2年 杉崎 高空



2年 地田 圭織



2年 法月 園華



1年 岡村 美緒